

危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

〇〇年 〇月 〇日

〇〇消防署
署長 〇〇 〇〇 殿

申請者

住所 〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 (電話 000-000-0000)

氏名 〇〇工場株式会社 代表取締役社長 消防 太郎 ㊟

| | | | |
|-----------------------|---|--|------|
| 危険物の所有者、管理者又は占有者 | 住所 | 〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 電話 000 (000) 0000 | |
| | 氏名 | 〇〇工場株式会社 代表取締役社長 消防 太郎 | |
| 仮貯蔵・仮取扱いの場所 | 所在地・名称 | 〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇工場株式会社 東側空地 | |
| 危険物の類、品名及び最大数量 | 第4類第1石油類 (ガソリン) 3,000 リットル | 指定数量の倍数 | 15 倍 |
| 仮貯蔵・仮取扱いの方法 | 200 リットルの金属製容器 (ドラム缶) を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム缶から金属製携行缶への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。 | | |
| 仮貯蔵・仮取扱いの期間 | 〇〇年 〇月 〇日から 〇〇年 〇月 〇日まで 10 日間 | | |
| 管理の状況 | 敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。作業前後に点検を行い、その結果を記録する。 第五種消火設備 10 型粉末消火器 3 本設置する。 | | |
| 現場管理責任者 | 住所 | 〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 緊急連絡先 000 (000) 0000 | |
| | 氏名 | 危険物 次郎 | |
| 仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理 | 被災地における燃料不足により、災害復興支援車両等への燃料補給を行うため。注入完了後、流出等ないことを確認し完了する。 | | |
| その他必要事項 | 金属製携行缶による給油は、この場所で行わない。 | | |
| ※ 受付欄 | ※ 経過欄 | ※ 手数料欄 | |
| | 承認年月日 承認番号 | | |